

# 【社会資本総合整備計画】

## 都市再生整備計画 事後評価シート

### 大船駅周辺地区

平成26年3月

神奈川県鎌倉市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	鎌倉市		地区名	大船駅周辺地区			面積	220 ha			
交付期間	平成23年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年		交付対象事業費(百万円)	320	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路(市道053-000号線・市道059-013号線・市道205-023号線)、高質空間形成施設(大船駅東口エレベーター等整備事業)										
			提案事業	-										
			効果促進事業	事業効果分析調査、大船駅東口大階段屋根等の改修										
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			基幹事業	道路(市道205-023号線)			事業精査により事業の中止			事業の削除は指標に関係するが、目標及び指標は据え置く。				
			提案事業	-			-			-				
新たに追加した事業		基幹事業	-											
		提案事業	-											
交付期間の変更		当初	平成23年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
		変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み					
	指標1	安全で快適な歩行者交通環境の満足度	%	12.7	H21	18.7	H25	-	17.7	△	あり	H26.4		
指標2	生活しやすい市街地環境の満足度	%	29.1	H21	38.8	H25	-	30.0	△	あり	H26.4			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		大船駅前の放置自転車台数	台/年	47,337	H22	/	-	37,258	/	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ	
	その他の数値指標2		整備が必要な大船駅自由通路のバリアフリー化箇所数	箇所	4	H23	/	-	9	/	なし	なし		
	その他の数値指標3		大船駅西口の交通環境等の課題解決の達成度	%	-	-	/	-	95.0	/	なし	なし		
4)定性的な効果発現状況		・大船駅東口エレベーター及びエスカレーターは、駅利用者のみならず、隣接商業施設への利用や線路を挟んだ東西の行き来など、多様な利用がみられ、利用頻度は高い。												
5)実施過程の評価	モニタリング		実施内容			実施状況			今後の対応方針等					
			なし			-			-					
	住民参加プロセス		砂押川プロムナード桜愛護会の活動 ・平成19年4月発足。定期的な清掃・除草等の美化活動や桜並木等の保全活動及び子ども達とのワークショップ等のPR活動を実施。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も桜並木の保全を推進する。</li> <li>・住民によるまちづくり機運の高まりを今後のまちづくり活動に活かしていく。</li> </ul>					
	持続的なまちづくり体制の構築		なし			-			-					

## 様式2-2 地区の概要

### 大船駅周辺地区(神奈川県鎌倉市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年度	値	年度	値	年度
大船全体の魅力と拠点性を高めていくために、交通結節性と地域の個性を活かし、市民(NPO)、企業、大学、行政の協働により、「活力に溢れ、豊かな生活文化を創造し発信するまち」の実現を図る。 ○商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいのあるまちとする。 ○安全、安心で優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまちとする。	安全で快適な歩行者交通環境の満足度	%	12.7	H21	18.7	H25	17.7	H25
	生活しやすい市街地環境の満足度	%	29.1	H21	38.8	H25	30.0	H25
	大船駅前の放置自転車台数	台/年	47,337	H22	-	-	37,258	H25
	整備が必要な大船駅自由通路のバリアフリー化箇所数	箇所	4	H23	-	-	9	H25
	大船駅西口の交通環境等の課題解決の達成度	%	-	-	-	-	95	H25

■効果促進事業:(市)H23~24  
大船駅東口駅舎等改修事業

■基幹事業:高質空間形成施設(市)H23~24  
大船駅東口エレベーター等整備

■基幹事業:道路(市)H23  
市道053-000号線(大船駅岡本線)

○関連事業:(市)H23  
大船駅西口公共広場等整備事業

○関連事業:(市)H23  
大船駅西口自転車駐車場整備事業

事業区域

0 250 500 1000 m

○関連事業:(神奈川県)H23~27  
阿久和鎌倉線道路整備事業

○関連事業:(市・地元組織)H20~30  
砂押川プロムナード桜保全再生活動支援

■基幹事業:道路(市)H24~25  
市道059-013号線(大船仲通) 安心歩行エリアの整備

○関連事業:(市)H23~25  
放置しづらい環境づくり等事業

凡例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

**まちの課題の変化**

- ・安心歩行エリアにおける未整備箇所の解消が課題であったが、交差点部において、車の注意喚起を行うカラー舗装及び停止線を整備し、自動車運転手に対し、歩行者への注意喚起を行う整備ができた。
- ・大船駅東口のバリアフリー対応が課題であったが、大船駅西口のバリアフリー化に続き、東口にエレベーター及びエスカレーターを設置したことにより、大船駅の自由通路において、駅利用や隣接商業施設利用者、東西エリアへの横断者など多様な利用者が快適かつ円滑に利用できる歩行環境が実現できた。一方で、駅改札からタクシー乗り場等へのアプローチのわかりにくさやエレベーターを利用した自転車の自由通路利用のトラブルへの懸念といった課題が発生した。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・歩行者の安全安心に関する整備は、整備実施箇所の効果検証等もふまえ、交通管理者(警察)と連携しさらに周辺への効果波及に向け、歩行環境の安全性の向上を追求していく。
- ・駅改札からタクシー乗り場等へのアプローチのわかりにくさについては、サイン表示など円滑な誘導方策を検討し、自由通路の自転車利用については、マナーアップや利用時間制限等の対策を検討していく。

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- ~~添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理~~

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 事後評価委員会の審議

- 添付様式8 事後評価委員会の審議

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業		(百万円)							
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道053-000号線(大船駅岡本線)	24	歩車道路改修整備 延長65m	24	歩車道路改修整備 延長65m	変更なし	変更なし	●	
道路	市道059-013号線(大船仲通)	5	交差点手前カラー舗 装、安心歩行エリア の整備	5	交差点手前カラー舗 装、安心歩行エリア の整備	変更なし	変更なし	●	
道路	市道205-023号線(資生堂前)	10	安心歩行エリアの整 備、路側線内側カ ラー舗装、現場打ち 側溝蓋、高視認性 区画線、延長350m	0	削除	警察協議の結果、実施見送りと なったため、事業の中止	事業の削除は指標に関係するが、目標及び指標は据え置く。		
公園									
古都及び緑地保 全事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用 システム									
地域生活基盤施 設									
高質空間形成施 設	大船駅東口エレベーター等整備事業	252	エレベーター1基、 エスカレーター1基	281	エレベーター1基、 エスカレーター1基、 支障物件移設補償	設計の見直しによる支障物件設備 費用の追加	事業内容に大きな影響がないため、目標及び指標への影響はなし。	●	
高次都市施設									
地方都市リバーシ ョン推進施設									
生活拠点施設									
既存建造物活用 事業									
都市再生交通拠 点整備事業									
土地区画整理事 業									
市街地再開発事 業									
住宅街区整備事 業									
バリアフリー環境整 備促進事業									
優良建築物等整 備事業									
住宅市街地総合 整備事業									
街なみ環境整備事 業									
住宅地区改良事業等									
公営住宅等整備 事業									
都市再生住宅等整備 事業									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画			
大船駅西口公共広場等整備事業		大船駅西口	453	290	平成20年～平成23年	平成20年～平成23年	事業完了		
大船駅西口自転車駐車場整備事業		大船駅西口	-	212	平成23年～平成24年	平成23年～平成23年	事業完了		
大船駅東口駅舎等改修整備<効果促進事業>		大船駅東口	38	42	平成23年～平成23年	平成23年～平成24年	事業完了		
阿久和鎌倉線道路整備事業		大船駅西口	1,000	1,000	平成16年～平成24年	平成16年～平成25年	事業実施中		
腰越大船線道路整備事業		大船駅東口	4,500	4,500	平成17年～平成26年	平成17年～平成26年	事業実施中		
小袋藤沢線道路整備事業		大船駅東口	730	730	平成21年～平成26年	平成21年～平成26年	事業実施中		
砂押川ブルムナード桜保全再生活動支援		大船駅東口	5	5	平成20年～平成30年	平成20年～平成30年	地元住民によって「砂押川ブルムナード桜愛護会」が結成され、桜並木等の保全活動を実施している。		
放置しづらい環境づくり等事業		大船駅周辺	5	5	平成23年～平成25年	平成23年～	事業実施中		
大船駅周辺地区事業効果分析調査<効果促進事業>		大船駅周辺	3	3	平成25年～平成25年	平成25年～平成25年	事業完了		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度		目標年度					あり	なし			
指標1	%	市内で毎年1月に実施している2000名(無作為抽出)のアンケート調査のうち、玉縄・大船地域に在住の方の満足度を計測。評価値は、従前値と同様のアンケートにより、平成24年度の市民意識調査(H25.3公表)により把握した数値を、評価時点(H26.3.31)の評価値(見込み値)とする。	-	-	12.7	H21	18.7	H25	モニタリング			モニタリング			●	
									事後評価	確定		17.7	事後評価	△		
指標2	%	市内で毎年1月に実施している2000名(無作為抽出)のアンケート調査のうち、玉縄・大船地域に在住の方の満足度を計測。評価値は、従前値と同様のアンケートにより、平成24年度の市民意識調査(H25.3公表)により把握した数値を、評価時点(H26.3.31)の評価値(見込み値)とする。	-	-	29.1	H21	38.8	H25	モニタリング			モニタリング			●	
									事後評価	確定		30.0	事後評価	△		
指標3									モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定			事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	満足度の数値は改善しているものの、目標値まで達していないため、目標達成度は△とした。現状でほぼ目標値に近接しているため、1年以内の見込みはありとした。	<参考> 目標値は、従前値と過去の数値の推移からの近似曲線により、推計し設定した。
指標2	満足度の数値は改善しているものの、目標値まで達していないため、目標達成度は△とした。アンケート時点では大船駅前東口のバリアフリー化整備が供用開始していないため、供用開始後は数値の改善が見込めることから、1年以内の見込みはありとした。	<参考> 目標値は、従前値と過去の数値の推移からの近似曲線により、推計し設定した。
指標3		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合



添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)	
				基準年度		基準年度						
その他の数値指標1	大船駅前放置自転車台数	台/年	-	-	47,337	H22	モニタリング			37,258	駅前の良好な歩行環境を妨げる要因としての、放置自転車対策における効果発現を検証	指標1、2を補完
							事後評価	確定	見込み			
その他の数値指標2	整備が必要な大船駅自由通路のバリアフリー化箇所数	箇所	-	-	4	H23	モニタリング			9	大船駅の自由通路において、都市機能の強化による快適な歩行空間の確保に関する効果を検証	指標1、2を補完
							事後評価	確定	見込み			
その他の数値指標3	大船駅西口の交通環境等の課題解決の達成度	%	-	-	-	-	モニタリング			95	大船駅周辺の交通環境の改善事業に対する市民の実感を検証	指標1、2を補完
							事後評価	確定	見込み			

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・大船駅東口エレベーター及びエスカレーターは、駅利用者のみならず、隣接商業施設への利用や線路を挟んだ東西の行き来など、多様な利用がみられ、利用頻度は高い。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
砂押川プロムナード桜愛護会の活動	予定どおり実施した	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【実施頻度】平成19年4月発足。毎月2回の美化活動、年数回の樹木治療等の保全活動を実施。</li> <li>【実施時期】平成19年4月～</li> <li>【実施結果】平成20年7月に「砂押川桜保全再生計画」を策定し、定期的な清掃・除草等の美化活動や桜並木等の保全活動及び子ども達とのワークショップ等のPR活動を実施してきたことで、砂押川プロムナードは地域住民にとって憩いのある場所として認知されてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も桜並木の保全を推進する。</li> <li>・住民によるまちづくり機運の高まりを今後のまちづくり活動に活かしていく。</li> </ul>
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内横断的な組織	関係課(道路課、再開発課、経営企画課)職員	平成25年9月20日	経営企画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2				
指標名		安全で快適な歩行者交通環境の満足度	生活しやすい市街地環境の満足度				
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見		
基幹事業	道路(市道053-000号線)	◎	大船駅東口のバリアフリー化整備により、関連事業の西口整備とあわせ駅周辺における一体的なバリアフリー化が図られた。整備後は、駅利用者のみでなく隣接商業施設等へのアプローチなど多様な利用がされている。また、放置自転車対策では、ハード及びソフト事業を一体的に行うことにより、駅前の歩行環境が改善された。	○	大船駅自由通路のバリアフリー化に加え、関連事業による西口公共広場整備に伴う交通アクセスの改善、渋滞の解消、駐輪場の新設、歩行者の安全性の向上等により、第1期事業からの駅周辺の総合的な環境改善を実施することができた。		
	道路(市道059-013号線)	◎		○			
	高質空間形成施設(大船駅東口エレベーター等整備事業)	◎		◎			
提案事業							
関連事業	大船駅西口公共広場等整備事業	◎		◎			
	大船駅西口自転車駐車場整備事業	○		◎			
	大船駅東口駅舎等改修整備	○		○			
	阿久和鎌倉線道路整備事業	◎		○			
	腰越大船線道路整備事業	-		○			
	小袋谷藤沢線道路整備事業	◎		○			
	砂押川プロムナード桜保全再生活動支援	◎		◎			
放置しづらい環境づくり等事業	◎	◎					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後は大船駅の周辺やその他地域での歩行環境の改善の検討を進めていく。	今後は大船駅の周辺やその他地域での歩行環境を含めた幅広い環境改善の検討を進めていく。		
-------	------------------------------------	--	--	--

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		その他の数値指標1		その他の数値指標2		その他の数値指標3			
指標名		大船駅前の放置自転車台数		整備が必要な大船駅自由通路のバリアフリー化箇所数		大船駅西口の交通環境等の課題解決の達成度			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見		
基幹事業	道路(市道053-000号線)	○	「放置しづらい環境づくり等事業」の取り組みにより、放置自転車台数は徐々に減少傾向になり、西口公共広場整備に伴う駐輪場整備により、さらに放置自転車台数は減少し、歩きやすい歩行環境が確保されつつある。	-	従来より課題となっていた大船駅の自由通路のバリアフリー化が必要な箇所を全て解消したことにより、高齢者やベビーカー利用者等にも円滑な歩行環境が提供できた。東西エリアの利用、駅利用、駅前商業施設利用など多様な利用に貢献している。	○	大船駅西口における第1期の都市再生整備計画事業から進めてきた本事業は、関連事業を含めた総合的な大船駅前の交通環境改善により、多くの方に、安全性や快適性の確保・渋滞解消・バス停の集約化といった課題に対し、その多くが解決されたと回答をいただいた。		
	道路(市道059-013号線)	-		-		○			
	高質空間形成施設(大船駅東口エレベーター等整備事業)	-		◎		○			
提案事業									
関連事業	大船駅西口公共広場等整備事業	○		◎		◎			
	大船駅西口自転車駐車場整備事業	◎		○		○			
	大船駅東口駅舎等改修整備	○		○		○			
	阿久和鎌倉線道路整備事業	-		-		-			
	腰越大船線道路整備事業	-		-		-			
	小袋谷藤沢線道路整備事業	-		-		-			
	砂押川フロムナード桜保全再生活動支援 放置しづらい環境づくり等事業	- ◎		- -		○ ◎			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	市民への意識向上等を図りつつ、更なる放置自転車台数の減少をめざす。	今後は大船駅の周辺やその他の地域での歩行環境の改善の検討を進めていく。	今後は大船駅の周辺やその他の地域での交通環境の改善の検討を進めていく。
-------	-----------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内横断的な組織	関係課(道路課、再開発課、経営企画課)職員	平成25年 9月20日	経営企画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
安心歩行エリアにおける未整備箇所の解消	交差点部において、車の注意喚起を行うカラー舗装及び停止線を整備し、自動車運転手に対し、歩行者への注意喚起を行う整備ができた。	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大船駅西口駅前広場整備により、バスやタクシー乗り場等の交通環境が整理されたが、駅改札からタクシー乗り場へのアプローチが分りにくくなっている。</li> <li>・緊急時に対応可能なストレッチャーを収容できるエレベーターを設置したことにより、通常時に自転車の自由通路利用が見られ、トラブル等を危惧する市民の声が聞かれるようになった。</li> </ul>
大船駅東口のバリアフリー対応が課題	大船駅西口のバリアフリー化に続き、東口にエレベーター及びエスカレーターを設置したことにより、大船駅の自由通路において、駅利用や隣接商業施設利用者、東西エリアへの横断者など多様な利用者が快適かつ円滑に利用できる歩行環境が実現できた。	なし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	歩行環境の安全性の向上	整備実施箇所の効果検証等もふまえ、交通管理者(警察)と連携した歩行環境の安全性の向上を追求し、さらに周辺の未整備箇所の整備を推進させていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通対策事業</li> <li>市民のマナーアップ等のPR</li> <li>実施効果の検証を含めたその他エリア整備に向けた検討</li> </ul>

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策  <ul style="list-style-type: none"> <li>未達成の目標を達成するための改善策</li> <li>未解決の課題を解消するための改善策</li> <li>新たに発生した課題に対する改善策</li> </ul>	大船駅改札からのタクシー乗り場等へのアプローチがわかりにくいこと	サイン表示など円滑な誘導方策の検討を行う。	サイン設置等
	駅自由通路の自転車利用へのトラブル等への危惧	マナーアップや時間制限等の対策の検討を行う。	利用ルールやマナーアップ支援等

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	まちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	安全で快適な歩行者交通環境の満足度	%	12.7	H21	18.7	H25	確定	17.7	△	あり	●	H26.4	従前値と同様の方法にて計測	
							見込み			●				
指標2	生活しやすい市街地環境の満足度	%	29.1	H21	38.8	H25	確定	30.0	△	あり	●	H26.4	従前値と同様の方法にて計測	
							見込み			●				
指標3							確定			あり				
							見込み			なし				
その他の数値指標1	大船駅前の放置自転車台数	台/年	47,337	H22			確定	37,258				H26.4	従前値と同様の方法にて計測	
					見込み	●								
その他の数値指標2	整備が必要な大船駅自由通路のバリアフリー化箇所数	箇所	4	H23			確定	9				-		
							見込み		●					
その他の数値指標3	大船駅西口の交通環境等の課題解決の達成度	%	-	-			確定	95				-		
							見込み		●					

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	課題となっていた大船駅前の変りアフリー化について、変りアフリー化関連事業のほか、西口の通勤通学時のバスや自動車の混雑の解消、自転車の駐輪環境の改善等を含め総合的な課題解決ができた。	最新の住民ニーズや課題を把握し、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせた総合的な課題解決を行うことが望ましい。
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		・事業効果を適正に確認できる指標を設定することが望ましい。
	うまく いかなかった点	事業対象エリア内の住民によるアンケートであったが、実施事業が大船駅前に集中していたため、アンケート対象エリア内における歩行環境の大幅な改善の印象につながらず、指標の数値が目標に達しなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	砂押川プロムナード桜愛護会の活動支援では、定期的な清掃・除草等の美化活動や桜並木等の保全活動及び子ども達とのワークショップ等のPR活動を実施でき、継続的な活動につながっている。	地域住民等との連携による地域に根付いた息の長いまちづくり体制の構築が重要である。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

### 添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後の都市再生整備計画事業の活用予定  
なし

・事後評価を予定している地区  
「鎌倉駅周辺地区」



## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成25年10月15日～11月13日	平成25年10月15日～11月13日	担当課への窓口受付、 電話、FAX、メール	経営企画課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページ及び 担当課窓口で原案を公表して いる旨を掲載	平成25年10月15日発行 広報かまくら	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	窓口閲覧(経営企画課)	平成25年10月15日～11月13日	平成25年10月15日～11月13日		

住民の意見	事後評価原案については、広く意見を集め、今後の良いまちづくりの参考にするとのことだが、大船駅周辺の最大の利用集団である三菱電機や鎌倉女子大学の生徒の皆さんなどには、どのような方法で意見を聴取したのかを確認したい。
-------	--

## (6) 事後評価委員会の審議

### 添付様式8 事後評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	志村 直愛 氏 ・東北芸術工科大学 教授 (委員長)	第1回 平成25年10月21日 第2回 平成25年11月29日	経営企画課	鎌倉市社会資本整備総合交付金評価委員会設置要綱	独自に設置
	市民委員 3名(男3名) ・自治町内会役員2名(大船地区、玉縄地区) ・福祉団体役員1名(高齢者、障害者等)				

審議事項※1	委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	
方法書	-
成果の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標1及び2について、アンケートの満足度の調査対象人数が不明である。 →事後評価シート2-①のデータの計測手法の欄に追記。</li> <li>・指標1及び2について、アンケートの目標値がどのように設定されたかがわからない。 →事後評価シート2-①のその他特記事項の欄に追記。</li> <li>・その他指標1の放置自転車台数で、西口と東口のそれぞれの状況を知りたい。 →放置台数の分類はないが、移送台数の分類はあるので、別途資料で報告する。</li> <li>・指標2について、推計値のアンケート調査時点では東口バリアフリー整備が完成していないため、完成後には満足度の向上が見込めるため、達成度△で1年後の見込みはありとして評価したほうがよい →指摘された内容にそって評価を見直した。(添付様式2-①、4-②等を修正)</li> </ul>
実施過程の評価	・色々な形で市民が関わっていることが鎌倉市らしさであるため、幅広く成果をみせ今後のまちづくりにつなげてほしい。
効果発現要因の整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標2の評価の変更に伴い要因分析を修正すること →要因分析を達成した指標として、添付様式4-②に再整理。</li> </ul>
事後評価原案の公表の妥当性	事後評価原案の公表の手続きは妥当であることが確認された。
その他	-
事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であることが確認された。
今後のまちづくりについて審議	
今後のまちづくり方策の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大船駅周辺整備後、改札からタクシー乗り場等への誘導が明確でないことや、エレベータを利用し自由通路を利用する自転車へのトラブルに対する懸念等を追記してほしい。 →添付様式5-②事業によって発生した新たな課題に追記</li> <li>・今回整備した安全安心歩行エリアの整備は、安全性に効果があるのでさらに周辺地域への波及が必要と記載してほしい。 →添付様式5-③効果を持続させるための基本的考え方に追記</li> <li>・添付様式⑥で当初指標が計画目標や事業との整合がやや希薄であったことについて記載しているため、次期計画への活かし方の欄には、適正な検証方法を設定する必要があるといった内容に変更すること。 →次期計画への活かし方の文を修正</li> </ul>
フォローアップ	-
その他	-
今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であることが確認された。
その他	-

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

# 都市再生整備計画(第1回変更)

おおふなえきしゅうへん  
大船駅周辺地区

かながわ 神奈川県 かまくら 鎌倉市

平成23年9月

・様式は、A4印刷とすること。



## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>(1)商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいのあるまちとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大船駅西口公共広場等整備事業に併せ、大船駅岡本線の車両動線の改善等の道路整備を行い、交通混雑の改善、歩行者空間の創出を図る。</li> <li>・大船駅東口にエレベーター、エスカレーターを整備し、駅利用者の利便性の向上及び不十分だった大船駅東口のバリアフリー化の充実を図る。</li> </ul>	<p>○基幹事業</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道053-000号線（大船駅岡本線）</li> </ul> <p>【高質空間形成施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大船駅東口エレベーター等整備事業</li> </ul> <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大船駅西口公共広場等整備事業（鎌倉市）</li> <li>・大船駅西口自転車駐車場整備事業（鎌倉市）</li> <li>・大船駅東口駅舎等改修整備（鎌倉市）</li> <li>・阿久和鎌倉線道路整備事業（神奈川県）</li> </ul>
<p>(2)安全、安心で優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまちとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大船駅西口公共広場等整備事業に併せ、大船駅岡本線の車両動線の改善等の道路整備を行い、交通混雑の改善、歩行者空間の創出を図る。</li> <li>・大船駅東口にエレベーター、エスカレーターを整備し、駅利用者の利便性の向上及び不十分だった大船駅東口のバリアフリー化の充実を図る。</li> <li>・あんしん歩行エリア内の事故多発地点、特に交差点周辺や歩道のカラー舗装等を行い、安全な交通環境を整備する。</li> </ul>	<p>○基幹事業</p> <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道053-000号線（大船駅岡本線）</li> <li>・市道059-013号線（大船仲通）</li> <li>・市道205-023号線（資生堂前）</li> </ul> <p>【高質空間形成施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大船駅東口エレベーター等整備事業</li> </ul> <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大船駅西口公共広場等整備事業（鎌倉市）</li> <li>・大船駅西口自転車駐車場整備事業（鎌倉市）</li> <li>・大船駅東口駅舎等改修整備（鎌倉市）</li> <li>・阿久和鎌倉線道路整備事業（神奈川県）</li> <li>・腰越大船線道路整備事業（神奈川県）</li> <li>・小袋谷藤沢線道路整備事業（神奈川県）</li> <li>・砂押川プロムナード桜保全再生活動支援（鎌倉市、地元組織）</li> <li>・放置しづらい環境づくり等事業（鎌倉市）</li> </ul>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付期間内の円滑な事業実施を進めるほか、庁内横断的な組織による事業間の調整を図り、社会情勢等の変化にも対応できる体制を構築する。</li> <li>・地区内のまちづくり協議会等の組織を引き続き活用し、住民参画を促し、住民(NPO)、大学、企業、行政の協働による「まちづくり」の実現に向け取り組む。</li> </ul>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	320	交付限度額	128	国費率	0.40
---------	-----	-------	-----	-----	------

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度	うち官負担分		うち民負担分		
道路	市道053-000号線(大船駅岡本線)	市	直	65m	23	23	23	23	24	24	24	24	
道路	市道059-013号線(大船仲通)	市	直	2箇所	24	24	24	24	5	5	5	5	
道路	市道205-023号線(資生堂前)	市	直	350m	25	25	25	25	10	10	10	10	
公園													
古都及び緑地保全事業													
河川													
下水道													
駐車場有効利用システム													
地域生活基盤施設													
高質空間形成施設		市	直		21	24	23	24	418	373	373	281	
高次都市施設													
既存建造物活用事業													
土地区画整理事業													
市街地再開発事業													
住宅街区整備事業													
地区再開発事業													
バリアフリー環境整備促進事業													
優良建築物等整備事業													
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業													
住宅地区改良事業等													
都心共同住宅供給事業													
公営住宅等整備													
都市再生住宅等整備													
防災街区整備事業													
合計									457	412	412	0	320

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度	うち官負担分		うち民負担分		
地域創造支援事業													
事業活用調査													
まちづくり活動推進事業													
合計									0	0	0	0	0

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
大船駅西口公共広場等整備事業	大船駅西口	市		3,315㎡			○		20	23	290
大船駅西口自転車駐車場整備事業	大船駅西口	市		1,135台			○		23	23	212
大船駅東口駅舎等改修整備	大船駅東口	市		65.56㎡			○		23	24	42
阿久和鎌倉線道路整備事業	大船駅西口	神奈川県		320m			○		16	24	1,000
腰越大船線道路整備事業	大船駅東口	神奈川県	国土交通省	370m		○			17	26	4,500
小袋谷藤沢線道路整備事業	大船駅東口	神奈川県	国土交通省	360m		○			21	26	730
砂押川プロムナード桜保全再生活動支援	大船駅東口	市、地元組織		500m			○		20	30	5
放置しづらい環境づくり等事業	大船駅周辺	市		5ha			○		23	25	5
大船駅周辺地区事業効果分析調査	大船駅周辺	市		-			○		25	25	3
合計											6,787

合計(A+B) 320